

2025 年度
一般社団法人 奈良県作業療法士会

定時社員総会 社員総会参考書類



一般社団法人
奈良県作業療法士会

期日 2025 年 6 月 27 日（金） 時間：18：30

会場 ： 大和大学白鳳短期大学部

開催形式：ハイブリッド開催として、参加者は会場参加及び
インターネット回線を使用して相互性の可能な
会議システム Zoom を利用致します。

総会次第

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 総会議事録署名人 選出
4. 第一号議案 2024 年度 事業報告
5. 第二号議案 2024 年度 収支報告
6. 第一号、第二号議案に関する質疑応答並びに採決
7. 第三号議案 2025 年度 事業計画
8. 第四号議案 2025 年度 予算計画
9. 第三号、第四号議案に関する質疑応答並びに採決
10. 第五号議案 その他
11. 閉会の挨拶

2025 年度 総会参加代議員数 名
委任状総数 枚
() %

役職	氏名	所属
【 理事 】		
会長	西井 正樹	奈良県作業療法士会
副会長・事務局長	毛利 陽介	大和大学白鳳短期大学部
副会長・保健福祉部・広報部	前岡 伸吾	天理よろづ相談所病院 白川分院
事務副局長	福永 寿紀	大和大学白鳳短期大学部
学術局長	辰己 一彦	UT ケアシステム
教育部長	木納 潤一	秋津鴻池病院
啓発局長	松山 和樹	田北病院
地域局長	安井 敦史	株式会社コミュニティケア
奈良ブロック長	渡邊 俊行	関西学研医療福祉学院
西和ブロック長	塩田 大地	西大和リハビリテーション病院
東和ブロック長	田中 陽一	兵庫医科大学
中南和ブロック長	片岡 歩	大和大学白鳳短期大学部
【 監事 】		
	金星 聡	奈良県総合リハビリテーションセンター
	土井 一輝	ハッピーリング西ノ京

第一号議案 2024 年度 事業報告

会長

会長 西井正樹

2024 年度は、2024 年 1 月 1 日に発生した M7.6 の能登半島地震により、（一社）日本作業療法士協会や日本 JRAT、奈良 JRAT からの情報収集・整理等を行うこととなった。奈良 JRAT から派遣チームが出動したが、奈良県作業療法士会単独での派遣は困難であった。また、8 月には奈良県作業療法士会の法人化 10 周年及び設立 40 周年記念式典を開催した。深谷奈良県副知事をはじめ、奈良選出の衆議院議員・参議院議員、山本日本作業療法士会会長、奈良県の各種団体の長など、総勢約 120 名が参加し、盛大に行われた。この記念式典においては、毛利副会長をはじめ多くの方々から助力を得た。このような式典を通じて、会のつながりの重要性を改めて認識することができた。

なお、会長業務として以下の活動を行った。

1. （一社）日本作業療法士協会関連
 - 1) （一社）日本作業療法士協会 社員総会の出席（連絡会）
 - 2) （一社）日本作業療法士協会 47 都道府県委員会の出席
2. 近畿作業療法士連絡協議会関連
 - 1) 近畿作業療法士連絡協議会 連絡会議への出席
 - 2) 次世代リーダー研修会の企画運営の責任者
 - 3) 第 44 回 近畿作業療法学会への参加
3. 奈良県リハビリ他関連職種関連
 - 1) 奈良県 POS 会議への出席
 - 2) 奈良県 JRAT 会議への出席
 - 3) 奈良県理学療法士協会 50 周年記念式典への出席
4. 行政関連
 - 1) 奈良県福祉事業団 評議員

副会長

副会長 毛利陽介

1. 3 役会での意見交換
2. 近畿連絡協議会役員会・48 委員会への参加
3. 奈良県 PT・OT・ST 役員会への参加

副会長

副会長 前岡伸吾

西井会長・毛利副会長のサポートを行った。

1. 日本作業療法士協会 代議員総会出席
2. 日本作業療法士協会と役職者の意見交換会参加（組織力強化を目指すための意見交換）
3. 奈良県 POS 役職者会議への参加
4. 日本作業療法士協会倫理委員会情報交換会への参加

事務局

財務担当

事務局長 毛利陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する
 - 1) ゆうちょ銀行振替口座を利用し全ての納入した会員への対応が出来ている。
 - 2) ブロック事務局と連携して会費納入後の対応がスムーズに行えている。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る
 - 1) 12 月には督促状を送付し、3 月にはブロック財務と連携し未納者へ直接連絡し、未納者は 1 割程度となった、其の内半数は退職し連絡が取れない若しくは、退会希望者となっている。
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する
 - 1) 支出の多い部局では各口座での管理を行っている。
 - 2) すべての部局は 4 半期ごとに決算を行い経費の管理を行っている。

4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う

- 1) 平松税理士事務所と顧問契約を結んでおり、法令に準じて決算書を作成した。
- 2) 各部局の協力を得て、所得税など法令に準じ適切に納税を行っている。

5. 財務会議を開催する

- 1) 財務会議を行った。

総務担当

事務副局長 福永寿紀

1. 会員情報管理の徹底

奈良県士会会員の情報を管理していくためのシステムを徹底して行った。より正確な情報の共有をめざし、会員管理システムの活用、ブロック事務局との連携を密に行った。入退会において、ブロック事務局との連携を行った。

会員管理システムを運用しているが、協会員と県士会との統一されていない為、同一運用は出来ていない。

2. ホームページのリニューアル

広報と協力のもとホームページをリニューアルをして、届け出書類などフォームからの入力としてペーパーレス化と会員手続きの効率化を図った。

3. 理事会運営

議事録を適切に作成している。

年12回行いその内、2回は拡大理事会を開催した。

4. 情報の伝達 啓発委員会と協力をして以下を行った。

- 1) メールマガジン・LINE 公式アカウントを利用し情報の伝達をおこなった。
- 2) 県士会ホームページにおいて、研修会情報や部局情報の更新を随時行った。

5. ブロックを医療圏域の4ブロック体制での運営を行った。

6. 代議員総会を行った。

福利厚生

事務副局長 福永寿紀

1. 新入会員の歓迎会

奈良学会後に開催をした。59名参加

2. PT・OT・ST 合同ボーリング大会

今年度は中止となった。

3. 子育て支援

- 1) 出産に伴う会費補助

会員の出産に伴う次年度の会費免除を行った。

表彰委員会

委員長 毛利陽介

1. 優秀学生賞の選出

詳細は末尾に記載

2. 学会優秀演題賞の選出

詳細は末尾に記載

奈良ブロック

奈良ブロック長 渡邊俊行

1. 奈良ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った

2. 奈良ブロック会議を実施した(1回) 参加者 21名

3. 第15回奈良県作業療学会の運営補助を行った 参加者 204名

第15回奈良県作業療学会 ～つなぐ・つながる～

学会長 飯塚 照史(奈良学園大学)

東和ブロック

東和ブロック長 田中陽一

1. 東和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った

2. 東和ブロック研修会の企画・準備

3. 東和ブロック研修会を開催した: 2024年11月20日(水) 参加者 32名

「リハビリテーションにおける栄養管理」

西和ブロック

西和ブロック長 塩田大地

1. 西和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った
2. 西和ブロック研修会を開催した： 2025 年 1 月 14 日(火) 参加者 32 名
タイトル：認知症作業療法の実践力を高める～根拠づくりへの挑戦～

中南和ブロック

中南和ブロック長 片岡歩

1. 研修会開催（年 1 回）
開催日：令和 7 年 2 月 7 日 開催
方式：オンライン
テーマ：「自分らしいキャリアの描き方と歩み方」
参加者：11 名
2. 委員会会議開催
令和 5 年 10 月 30 日、令和 6 年 11 月 13 日 開催
「中南和ブロック研修会の開催について・第 16 回奈良学会の開催に向けての報告」
テーマや開催方式などの決定
3. 中南和ブロック会員の会費及び入退会・異動・休会管理を行った

事業部

事業局長 木納 潤一

1. 研修会

日時	テーマ	講師	参加者
	1) スキルアップセミナー		
5/8	高次脳機能障害の基礎知識と治療介入について ～事例を踏まえて～	前岡伸吾	33
6/4	リスク管理と急変時対応	公文梨花	27
7/5	手指機能障害への作業療法	毛利陽介	39
8/7	訪問リハビリテーションの実践入門	松山厚樹	13
9/7	発達性読み書き障害の評価・解釈・介入	上西清吉	17
10/1	脳卒中患者の上肢麻痺に対する作業療法	塩田大地	27
10/29	県内の運転支援の現状 ～実際の運転支援の取り組みについて～	林朋一	22
12/16	就労支援と作業療法	河野隆	24
1/11	作業に焦点を当てる	東條秀則	12
	2) 事業部セミナー		
7/20	統計セミナー1	萬屋京典	43
10/19	統計セミナー2	萬屋京典	23
3/15	児童精神領域の作業療法	南庄一郎	39

2. 啓発事業

1) 外部啓発

・難病支援関連

中和保健所 講師 令和 6 年 11 月 13 日（水） 大西
令和 6 年度 神経・筋疾患難病患者への「コミュニケーション支援」の充実に向けた研修会
奈良県重症難病患者在宅療養サポート事業 専門職派遣 郡山保健所
令和 6 年 9 月 10 日（火） ALS コミュニケーション機器支援訪問 大和郡山市自宅

1. 研修会

日時	テーマ	講師	参加者
	1) 現職者共通研修		
4/20	作業療法生涯教育概論	木納潤一	23
5/16	日本と世界の作業療法の動向	松岡剛	29
7/11	職業倫理	南庄一郎	31
8/10	事例報告と事例研究	木納潤一	30
9/9	保健・医療・福祉と地域支援	西井正樹	24
11/11	作業療法における協業・後輩育成	北別府慎介	30
1/21	実践のための作業療法研究	田中陽一	30
12/10	作業療法の可能性	前岡伸吾	30
	2) 事例検討会		
5/30	身体障害領域	金星聡	21
6/27	老年期障害領域	千葉亜紀	18
7/23	発達障害領域	嶋谷和之	19
8/22	精神障害領域	早川智美	13
10/22	身体障害領域	前岡伸吾	19
11/28	老年期障害領域	中島由紀香	14
1/19	精神障害領域 事例検討会 講師（南庄一郎、早川智美、木納潤一）		21
	3) 現職者選択研修		
8/18	MTDLP 基礎研修（講師：西井正樹、北別府慎介）		7
2/16	MTDLP 基礎研修（講師：西井正樹、北別府慎介）		8
10/6, 13	精神障害領域（講師：南庄一郎、木納潤一、早川智美、坂井一也）		24
	4) 臨床実習指導者講習会		
12/21, 22	臨床実習指導者講習会		28

2. その他

- ・臨床実践報告書作成支援：8 事例完了、2 事例継続中。査読者打ち合わせ計 23 回開催。
- ・6/29, 30 第 44 回近畿作業療法学会にて生涯教育推進ブースを設置。

生活行為向上マネジメント委員会

委員長 北別府慎介

基礎研修の開催 2024 年 8 月 18 日：7 名
2025 年 2 月 16 日：8 名

学術部

学術部長 辰己一彦

1. 奈良県作業療法学会査読体制の見直しを行った
 - 1) 査読実務のマネジメントを行う部員の養成
 - 2) 部局員への査読体制の周知を図った
 - 3) 分野別査読委員の選定

- 4) 第14回奈良県作業療法士学会の査読を行った（17演題）
2. SIGの管理
3. 研究発表に関する勉強会を開催した
 - 1) 一般演題、事例報告の要項説明
 - 2) 研究に関する基礎知識と文献検索
 - 3) 研究計画法の講習会
4. 学術局の委員会議を行った

身障分野

委員長 金星 聡

1. 研修会開催（計2回）
 - 1 9月28日『ポジショニング・シーティングセミナー』 参加者 25名
講師：藤原誉久 先生（兵庫県立福祉のまちづくり研究所 理学療法士）
 - 2 2月4日『明日につながる情報共有をしよう』 参加者 12名
（オンライン開催 グループディスカッション形式）
2. 事例検討会（教育部共同開催 1回）
 - 5月30日（詳細は教育部の記載をご確認ください）
3. 委員会会議開催
 - 6月13日、8月21日（計2回）

発達分野

委員長 上西 清吉

1. 夢の森フェスティバルへの出展に参加した。
 - 1) 啓発委員会とともにブースを出展した。
 - 2) 遊び体験ブース、自助具体験ブースを設置し作業療法の啓発を行った。
2. 事例検討会を実施した。
 - 1) 教育部との共催で発達分野の病院・施設に所属する会員に事例報告者を募り事例検討を行った。
3. 会員限定研修会を実施した。
 - 1) 発達分野に所属の会員限定で参加を募り、JPAN(日本感覚処理・行為機能検査)の講義を実施した。
4. 市民向け研修会を実施した。
 - 1) 学校教員・保護者・支援者を対象としたZoom研修会を企画・実施した。

老年・地域分野

委員長 片岡 歩

1. 事例検討会開催（教育部と共催）
 - 令和6年6月27日 参加者 18名
2. 委員会会議を実施
 - 令和6年6月10日 （1回）

精神分野

委員長 木納 潤一

1. 研修会

日時	テーマ	講師	参加者
4/13	その大事な作業、やってみましょう！OTIPM	今元佑輔	129
4/19	その大事な作業、大事にしていましょ！OBP2.0	清家庸佑	117
6/15	Allen 認知能力障害モデル精神科領域における実践	木納潤一	122
8/29	ちょっと見てみたい、あそこの職場	三寺隆之	17

2. 近畿連絡協議会 近畿精神科 OT ワーキングチーム

- 1) 6/29, 30 (大阪) 妙技研修 2名参加
- 2) 会議出席: 5/19

福祉用具

委員長 河野 隆

1. 委員会 会議 メンバー不在のため開催なし
2. 研修会 →実施
 - 1) 2月7日: 「生活支援に活用できる ICT と作業療法～作業療法の可能性を広げよう」
講師: (一社)日本支援技術協会 中園 正吾 氏
参加者: 20名
3. その他
 - 1) 4月17日～19日
インテックス大阪にてバリアフリー展 OT ブース参加
奈良県士会からは6名がスタッフとして参加

運転委員

委員長 林 朋一

1. 近畿運転リハビリプロジェクトの会議、研修会、運営に参加した。
会議 (7回) 研修会 (2回、ドライブフェス)
2. 教習所との情報交換を行った。
葛城自動車学校様との連携を行った。

研究助成委員会

委員長 高畑脩平

1. 2024年度の研究助成の募集
2024年度は、申請がなかった。

啓発局

局長 松山 和樹

啓発部

啓発部委員長 松山 和樹

1. 榎原夢の森フェスティバル出展
R6.10/19, 20 榎原夢の森フェスティバルにて、奈良県作業療法士会のブース出展を行った。
内容は発達相談、リハビリ・生活相談、ワークショップ、作業療法のパンフレット配布。
2. ホームページリニューアル
R6.7月 ホームページのリニューアルをした。
3. 新人オリエンテーション研修
R6.6/10にオンラインにて新人オリエンテーション研修を実施した。参加者16名。
4. instagram開設と運営
5. 県士会の紹介チラシの作成・配布
県士会の入会促進を目的にチラシを作成し、奈良県の養成校に送付、全学生に配布して頂いた。

ワークライフサポート委員会

委員長: 堀内あすか

1. R7.2 アロマ講習会&座談会の開催

広報部

広報部長 前岡伸吾

1. 広報誌「まほろば」の発行を年4回(5月、9月12月2月)行った。
 - 1) まほろばの原稿を依頼する。
 - 2) まほろばの編集、印刷依頼を行った。
2. 年賀状の作成を行った。
 - 1) 年賀状のデザイン作成を行いました。
 - 2) 都道府県作業療法士会事務局、奈良県内の各種団体へ送付した。
3. 奈良県士会の発送作業の業務を行った。
 - 1) 各部局から依頼のあった書類などの発送作業を行った。

1. 介護予防や日常生活支援総合事業における短期集中サービスC・生活支援コーディネーターや認知症・新規に高齢期における難聴と成年後見制度について専門職と作業療法士が実践している内容を中心に研修会を4回開催した。
 - ①地域包括ケア OT 推進リーダー 基礎研修 *オンデマンドで実施 5名
 - ②地域包括ケア OT 推進リーダー 認定研修 I
日程：令和6年9月6日
*ZOOMにて開催 16名
 - ③地域包括ケア研修会
日程：令和6年12月21日
会場：奈良県コンベンションセンター 23名
 - ④地域包括ケア研修会
日程：令和7年2月15日
会場：奈良県橿原文化会館 16名
2. 県内39市町村担当者へのアウトリーチ
 - ①39市町村への「地域包括ケア参画の手引き 第2版」冊子と市町村担当者の案内を郵送
遠隔地支援について東吉野村・川上村・黒滝村とリモートでの意見交換を実施
3. 地域包括ケア OT 推進リーダー認定者
 - ①新規認定者：3名 総認定者数：78名
4. 奈良県介護人材確保対策総合支援補助金事業として、補助金273,000円の内示を受けた

認知症支援委員会

委員長 千葉 亜紀

1. 定例会議（Zoom開催）計1回開催した
11月21日
2. 研修
 - ・2月14日『家族の想い、触れてみませんか』（zoom/オンデマンド）
坂 悦夫氏（認知症の人と家族の会 世話人） 42名参加
 - ・地域体験研修として、家族の会集いや地域事業見学にのべ11名参加
3. 近畿連絡協議会認知症班研修に参加 8月17日
4. 認知症の人と家族の会 活動協力
本人の集い：8月10日、2月1日
アルツハイマーデーイベント 9月21日
5. 士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会（Zoom）
12月8日 2名参加
6. 市町村からの講師依頼、会議の対応を行った
大淀町、宇陀市、田原本町、吉野町、下市町、御所市
7. RUN 伴参加
天理市 11月17日 御所市 12月7日

保健福祉部

保健福祉部長 前岡 伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知
 - 1) 診療報酬改訂に向けた情報を協会ホームページで確認し、必要に応じてホームページに掲載した
 - 2) 令和6年の介護報酬・診療報酬同時改定に向けての情報収集を行った
2. 診療報酬に関する研修会の実施
 - 1) 新入会向けに診療報酬に関する基礎知識というテーマでオンライン研修会を実施した。
3. 近畿府県制度対策部との意見交換会の参加
 - 1) 8月に近畿2府4県での意見交換会と研修会に参加した。
4. 奈良県保険医協会との連携
 - 1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行った。
5. 保健福祉部会議の実施
 - 1) 年2回（令和5年4月、令和6年2月）部局会議を実施した。

各種委員会

(常設委員会)

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

1. 近畿作業療法士連絡協議会 災害支援対策事業

1) 会議

2月3日 各士会 災害支援情報共有

2. 日本作業療法士協会 大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練

1) 9月25日実施 メルマガ登録を活用し、会員の安否を確認

配信数 548 名、安否確認総数 319 名、割合 58% (昨年度比 -8%)

規約検討委員会

委員長 木納潤一

2024 年度は、規程の見直し等はなかった。

スポーツ支援委員会

委員長 木納潤一

1. E スポーツ事業

1) 8/3 マリオカート大会 大和大学白鳳短期大学 参加者 28 名

2) 11/24 マリオカート大会 奈良県総合福祉センター 参加者 28 名

3) 3/9 マリオカート大会 奈良県総合福祉センター 参加者 28 名

2. ソーシャルフットボール支援活動

1) 練習会毎月実施。

2) 公式戦 11/30, 12/21 出場

(特設委員会)

倫理委員会

委員長 西井正樹

奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口業務を行った。(相談件数 0 件)

ホームページに倫理担当窓口を設けた。

日本作業療法士協会倫理委員会情報交換会への参加(前岡副会長 代理出席)

選挙管理委員会

委員長 大西 美江

【自治体および各種団体より依頼された委員】

【奈良県】

- ・ 奈良県発達障害就労支援連絡協議会委員

(宮崎瑠璃子)

- ・ 奈良県高次脳機能障害支援体制委員会

(金星 聡)

【奈良市】

- ・ 奈良市介護給付等の支給に関する審査会委員

令和6年度交代(石川大、前岡伸吾、田中祥子、杉山有希、公文梨花、土井一輝、中島大貴、堀内あすか)

令和7年度より(辻本智美、中島大貴、杉山有希、前岡伸吾、公文梨花、堀内あすか、石田堯子、橋本史子)

- ・ 介護認定審査会委員

令和6年度交代(西井正樹・渡邊俊行)

令和7年度より(西井正樹・池田沙弥香)

【奈良県難病支援センター】

- ・ 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者

(大西和弘、星合直子、倉賀野藍子)

【奈良市保健所】

- ・ 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者

(大西和弘、星合直子)

【王寺町】

- ・ 認知症初期集中支援チーム検討委員(石橋慎二)

【他団体】

- ・ 奈良高次脳機能障害友の会あすか（金星聡）
- ・ 奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員（金星聡）

【令和6年度（一社）奈良県作業療法士会 優秀学生賞】

- ・ 大和大学白鳳短期大学部 作業療法学課程3年 小澤瑠緯（介護老人保健施設 てんとう虫）
- ・ 関西学研医療福祉学院 作業療学科3年 中瀬 天馬（奈良東病院）
- ・ 奈良学園大学 作業療法学専攻 4年 大谷 重幸（秋津鴻池病院）

【第15回奈良県作業療法学会 優秀演題賞】

- ・ 「学童期児童における協調運動スキルと数概念との関係」 福西知史（UT ケアシステム）

決算報告書

第 12 期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

一般社団法人 奈良県作業療法士会

貸借対照表

(令和 7年 3月31日 現在)

一般社団法人 奈良県作業療法士会

(単位:円)

科 目				金 額								
				当年度			前年度			増減額		
【資産の部】												
[流動資産]				[	10,507,902	]	[	11,772,947	]	[	-1,265,045	]
	現金及び預金				10,176,597			11,406,748			-1,230,151	
	仮払金				331,305			234,034			97,271	
	前払費用				0			132,165			-132,165	
[固定資産]				[	607,475	]	[	834,716	]	[	-227,241	]
	(有形固定資産)			(	0	)	(	72,141	)	(	-72,141	)
	一括償却資産				0			72,141			-72,141	
	(無形固定資産)			(	607,475	)	(	762,575	)	(	-155,100	)
	ソフトウェア				607,475			762,575			-155,100	
資 産 の 部 計					11,115,377			12,607,663			-1,492,286	
【負債の部】												
[流動負債]				[	376,796	]	[	314,851	]	[	61,945	]
	未払金				328,802			240,000			88,802	
	前受金				40,000			70,000			-30,000	
	預り金				7,994			4,851			3,143	
負 債 の 部 計					376,796			314,851			61,945	
【純資産の部】												
[基金等]				[	10,738,043	]	[	12,292,812	]	[	-1,554,769	]
	基金				0			0			0	
	利益剰余金				10,738,043			12,292,812			-1,554,769	
	(その他利益剰余金)			(	10,738,043	)	(	12,292,812	)	(	-1,554,769	)
	繰越利益剰余金				10,738,043			12,292,812			-1,554,769	
	(うち当期純損益)			(	-1,554,231	)	(	1,603,173	)	(	-3,157,404	)
純資産の部計					10,738,581			12,292,812			-1,554,231	
負債・純資産の部計					11,115,377			12,607,663			-1,492,286	

損益計算書

(令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 3月31日)

一般社団法人 奈良県作業療法士会

(単位:円)

科 目	金 額		
	当年度	前年度	増減額
I. 経常収益の部			
1. 経常収益			
受取会費及び寄付金			
会費	5,223,000	5,305,000	-82,000
寄付金	0	0	0
事業収益			
学会収益	444,000	0	444,000
研修会収益	509,000	497,000	12,000
財務収益			
受取利息	1,237	33	1,204
その他収益			
補助金及び助成金収益	245,401	173,000	72,401
雑収入	555,560	15,740	539,820
経常収益計	6,978,198	5,990,773	987,425
2. 経常費用			
事業費用			
講師謝礼	1,529,450	1,559,484	-30,034
発送費	17,886	15,323	2,563
消耗品費	634,339	32,414	601,925
賃借料	1,892,021	33,620	1,858,401
租税公課	0	0	0
減価償却費	192,241	86,666	105,575
旅費交通費	342,450	106,740	235,710
通信費	329,980	268,430	61,550
支払手数料	130,039	27,553	102,486
図書教育費	35,000	0	35,000
研究費	0	0	0
印刷製本費	117,363	0	117,363
広報費	628,606	169,440	459,166
雑費	378,361	80,873	297,488
管理費用			
事務文具費	78,173	50,425	27,748
賃借料	600,000	600,000	0
支払保険料	0	0	0
租税公課	0	10,000	-10,000
減価償却費	35,000	35,000	0
接待交際費	123,705	106,930	16,775
旅費交通費	46,460	64,180	-17,720
通信費	630,065	578,860	51,205
支払手数料	136,455	233,489	-97,034
会議費	6,935	5,173	1,762
諸会費	315,500	323,000	-7,500
懇親表彰費	332,400	0	332,400
図書教育費	0	0	0
雑費	0	0	0
経常費用計	8,532,429	4,387,600	4,144,829
当期経常損益	-1,554,231	1,603,173	-3,157,404
税引前当期純損益	-1,554,231	1,603,173	-3,157,404
当期純損益	-1,554,231	1,603,173	-3,157,404

個別注記表

(令和 6年 4月 1日 から 令和 7年 3月31日)

一般社団法人 奈良県作業療法士会

[illegible]

第三号議案 2025 年度 事業計画

会長

会長 西井正樹

2025 年は、積極的に内外含めて活動を行う。今年度より 2 年間は近畿作業療法士連絡協議会の代表幹事の当番県となっており、その業務を務める。

会長業務として以下のような活動を行う。

1. 日本作業療法士協会との連携・近畿作業療法士連絡協議会との連携
 - 1) 48 委員会 (旧 47 委員会) の委員として参加する。
 - 2) 近畿作業療法士連絡協議会代表幹事として、近畿の作業療法士の連携を進める。
2. 行政との連携
 - 1) 県・市町村との関係を強化する。
3. 各種団体との連携
 - 1) 奈良県理学療法士協会・奈良県言語聴覚士会との連携を強化する。
 - 2) 奈良県医師会・奈良県看護協会等医療福祉関連団体と連携を強化する。
 - 3) 障がい者団体との連携を強化する。
4. 他分野についての研修会の強化に努める
 - 1) 今まで奈良県作業療法士会が取り組んでこなかった分野の啓発活動の推進
 - 2) 臨床実習指導者を増やす。
 - 3) 認定作業療法士を増やす。
 - 4) 作業療法士の啓発活動

副会長

副会長 毛利陽介

会長を補佐し、三役会の開催・近畿連絡協議会の出席など対外的な活動を行う。

副会長

副会長 前岡伸吾

会長・副会長との業務分担として、関連団体との協力の人選調整等を行う。

事務局

事務局長 毛利陽介

総務部

1. 会員情報管理の徹底
2. 理事会運営
3. 情報の伝達
 - 1) メールマガジンやラインなど SNS を利用した媒体への登録を進める。
 - 2) 県士会ホームページにおいて研修会や部局情報の更新、問い合わせメールへの対応を行う。
4. 代議員総会の開催
5. 組織率向上の為のニーズ調査

財務部

事務副局長 福永寿紀

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。

会費納入方法の追加を検討する
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する。
4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。
5. 財務会議を開催する。
6. 県士会データと会員管理システムにおけるデータの統一化を図る。

福利厚生

毛利 陽介

1. 会員の慶弔
2. 新入会員の歓迎会
3. 子育て支援
 - 1) 出産に伴う会費補助
4. 作業療法士総合保険への補助

5. 奈良県 PT・OT・ST ボーリング大会の開催

表彰委員会

委員長 毛利陽介

1. 優秀学生賞の選出
2. 優秀演題賞の選出

ブロック部

奈良ブロック

奈良ブロック長 渡邊俊行

1. 奈良ブロック会議の実施（2回）
奈良ブロック研修会の企画・準備を内容とした会議を実施する
2. 奈良ブロック研修会の開催（1回）
3. 奈良ブロック事務局機能の徹底
入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う

東和ブロック

東和ブロック長 田中 陽一

1. 東和ブロック会議の実施（2回）
東和ブロック研修会の企画・準備を内容とした会議を実施する
2. 東和ブロック研修会の開催（1回）
3. 東和ブロック事務局機能の徹底
入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う

西和ブロック

西和ブロック長 塩田大地

1. 西和ブロック会議の実施（2回/年）
2. 西和ブロック研修会の実施（1回/年）
3. 西和ブロック事務局機能の徹底
入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う

中南和ブロック

中南和ブロック長 片岡 歩

1. 研修会開催（年1回）
開催日：未定
方式：オンライン及び対面
テーマ：未定
2. 委員会会議開催
開催日：年4回開催（未定）
方式：オンライン及び対面
テーマや開催方式などの決定・会員管理など
3. 中南和ブロック会員の会費及び入退会・異動・休会管理の継続

事業局

事業局長 木納潤一

1. 研修会
 - ・毎月1回、合計10回のスキルアップセミナーを開催する。
 - ・年2回の事業部セミナーを開催する。
2. 啓発事業
 - 1) 外部啓発
 - ・家族会
奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、ひまわり会、春うらら会他家族会支援
 - ・難病支援関連
研修会への参加
奈良県難病相談支援センター及び県内保健所における難病患者への支援
 - 家族会支援
 - ・バリアフリー展

学術局
教育部

学術局長 辰己一彦
部長 木納潤一

1. 研修会

- 1) 現職者共通研修：10 テーマ全て開催
- 2) 現職者選択研修（令和7年度は身体障害分野）
2. 生涯教育履修履歴の管理：受講や講師の基礎ポイント付与手続きを行う。
3. 事例検討会の推進、他 SIG 団体との事例検討会の運営
4. 生涯教育基礎研修修了者への修了申請手続きの促進
5. 生活行為向上マネジメントに関連する研修会の補助
6. 臨床実習指導者講習会の準備と運営補助
7. 会員への事例報告登録研修制度の広報と利用推進

生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 北別府慎介

- ・MTDLP 基礎研修の開催（2回/年）
- ・MTDLP 実践者研修の開催（5回/年）

学術部

部長 辰己一彦

1. 奈良県作業療法士会学術部の査読体制の見直し
 - 1) 査読実務のマネジメントを行う部員の養成
 - 2) 部局員への査読体制の周知を図る
 - 3) 分野別査読委員の選定
 - 4) 第16回奈良県作業療法士学会の査読の実施
2. SIG の管理
3. 研究助成費採択、拠出
研究助成委員会の会議にて、応募者の研究の進捗状況を確認し支援する
4. 研究発表に関する勉強会開催
 - 1) 一般演題，事例報告，事例登録の要項説明
 - 2) 研究に関する基礎知識と文献検索
 - 3) 研究計画法の講習会
5. 各委員会の管理，運営補助
身障，発達，老年・地域，精神，運転，福祉用具，研究助成，学術誌発行
- 6 学術局主催研修会
ZOOM 研修会実施実施予定

学術部精神分野

担当：木納潤一

1. 委員会の開催
2. 研修会の開催
 - 1) 精神科作業療法に関する研修会7回開催。
 - 2) 事例検討会2回（教育部との共催）。

身体障害分野

担当分野責任者 金星 聡

1. 研修会の開催（2回）
2. 事例検討会の開催（1回 教育部共同開催）
3. 委員会会議の開催（3回）

地域・老年期分野

担当分野責任者 片岡 歩

1. 研修会開催（年1回予定）
開催日：未定
方式：オンライン及び対面
テーマ：未定
2. 委員会会議開催（年2回予定）
開催日：未定
方式：オンライン及び対面

テーマや開催方式などの決定・会員管理・委員数アップのノウハウなど

発達分野 特別支援委員会

委員長：上西 清吉

1. 夢の森フェスティバル出展への参加
 - 1) 啓発委員会とともにブースを出展する
2. 事例検討会の開催
 - 1) 教育部との共催にて実施する
3. 会員向け研修会の実施
 - 1) 対面にて県士会員限定の研修会を実施する
 - 2) 前年度同様に2回開催を予定している
4. 市民向け研修会の実施
 - 1) 保育士・学校教員・保護者・支援者を対象とした研修会を行う

福祉用具相談支援委員会

委員長 河野 隆

1. 委員会議 2回
2. 研修会 1回実施
3. 生活行為工夫情報モデル事業への参加

運転委員会

委員長 林 朋一

1. 委員会議の実施（2回）
研修会の企画・準備、現状報告、確認、検討を内容とした会議を実施する
2. 研修会の開催（オンライン予定）
3. 近畿連絡協議会：近畿運転リハビリプロジェクトへの参加、運営参加
会議への参加、研修会運営
4. 奈良県障害福祉課と高次脳機能センターとの連携事業
5. 教習所との連携への働きかけ

研究助成委員会

委員長 高畑 脩平

1. 研究助成の募集・審査
新年度に会員に対して募集を行い、随時、申請を受付ける。

啓発局

局長 松山和樹

啓発部

委員長 松山和樹

外部・内部啓発

1. 夢の森フェスティバル R7.10/18, 19 2日間のブース出展
2. 新人オリエンテーション研修
3. instagramの運営
4. 奈良学会後の懇親会

ワークライフサポート委員会

委員長 堀内 あすか

1. 相談窓口の運用
2. ワークライフバランスに関連する研修会、講習会の実施。

広報部

広報部長 前岡伸吾

1. 広報誌「まほろば」の発行を年4回（5月、9月12月2月）行う。
 - 1) まほろばの原稿を依頼し、編集し奈良県士会ホームページ上にWEB掲載する。
2. 年賀状の作成を行う。
 - 1) 年賀状のデザイン作成を行う。
 - 2) 都道府県作業療法士会事務局、奈良県内の各種団体へ送付する。
3. 奈良県士会の発送作業の業務を担う。
 - 1) 必要に応じて発送作業の業務を担う。

地域局

局長 安井敦史

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

1. 奈良県介護人材確保対策総合支援補助金の公募申請
2. 地域包括ケア OT 推進リーダー研修を実施する（原資：県補助金事業）
3. 県士会独自の認定者の OJT 研修を実施
4. 総合事業・自立支援の研修会を実施する（原資：県補助金事業）
5. 委員会定例会議を開催し、県内各地の情報収集・情報更新を行う
6. 県庁、市町村からの依頼に対応を行う
7. 県内 39 市町村行政担当課へ作業療法の啓発を行う

認知症支援委員会

委員長 千葉 亜紀

1. 委員会定例会議 2 回
5 月・10 月（Zoom 開催）
各ブロック情報共有、研修・企画の打合せ
2. 研修
①地域体験研修：認知症家族の会の「本人のつどい」（8 月・2 月）、RUN 伴の参加、地域事業見学
②当事者研修（1 月）：当事者（ご本人・ご家族）の講演 90 分（Zoom・オンデマンド配信）
3. 認知症の人と家族の会
本人の集い（年 2 回）への協力参加
若年性認知症支援 絆や事業所への見学
4. 士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会 参加
5. 市町村事業の依頼への対応
6. アルツハイマーデーの企画
7. 認知症サポーター養成講座

保健福祉部

保健福祉部長 前岡 伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知
1) 診療報酬改訂に向けた情報を協会ホームページで確認し、必要に応じてホームページに掲載する
2. 診療報酬に関する研修会の実施
1) 令和 6 年の介護報酬・診療報酬同時改定に向けての研修会を 4 月に実施する
3. 近畿府県制度対策部との意見交換会の参加
1) 近畿 2 府 4 県での意見交換会と研修会に参加する。
4. 奈良県保険医協会との連携
1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行っていく
5. 保健福祉部会議の実施
1) 年 3 回（令和 6 年 4 月、12 月と令和 6 年 2 月）部局会議を実施する

スポーツ支援委員会

委員長 木納潤一

1. E スポーツ
1) マリオカート大会 6 回
2) 奈良学会での e スポーツ大会開催
2. ソーシャルフットボール支援活動
3. パラスポーツへの参画
4. ソーシャルバスケットボール活動への参画

(常設委員会)

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

1. 災害支援対策委員会

1) 会議開催 大規模災害時支援活動基本指針の検討・作成

2) JIMTEF 災害医療研修会 受講者調整

2. 奈良 JRAT

1) 県との協力調整 防災総合訓練参加調整

2) 奈良・近畿会議出席

3) 奈良・近畿研修会参加

2. 近畿作業療法士連絡協議会 災害支援対策事業

1) 会議出席

3. 日本作業療法士協会 大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練

1) 会員の安否確認率の維持・向上

規約検討委員会

委員長 木納潤一

1. 規程・細則の見直し、修正や変更を行う。

2. 規程・細則の作成を行う。

3. 会員が規程・細則を閲覧できる環境を整備する。

(特設委員会)

倫理委員会

委員長 西井正樹

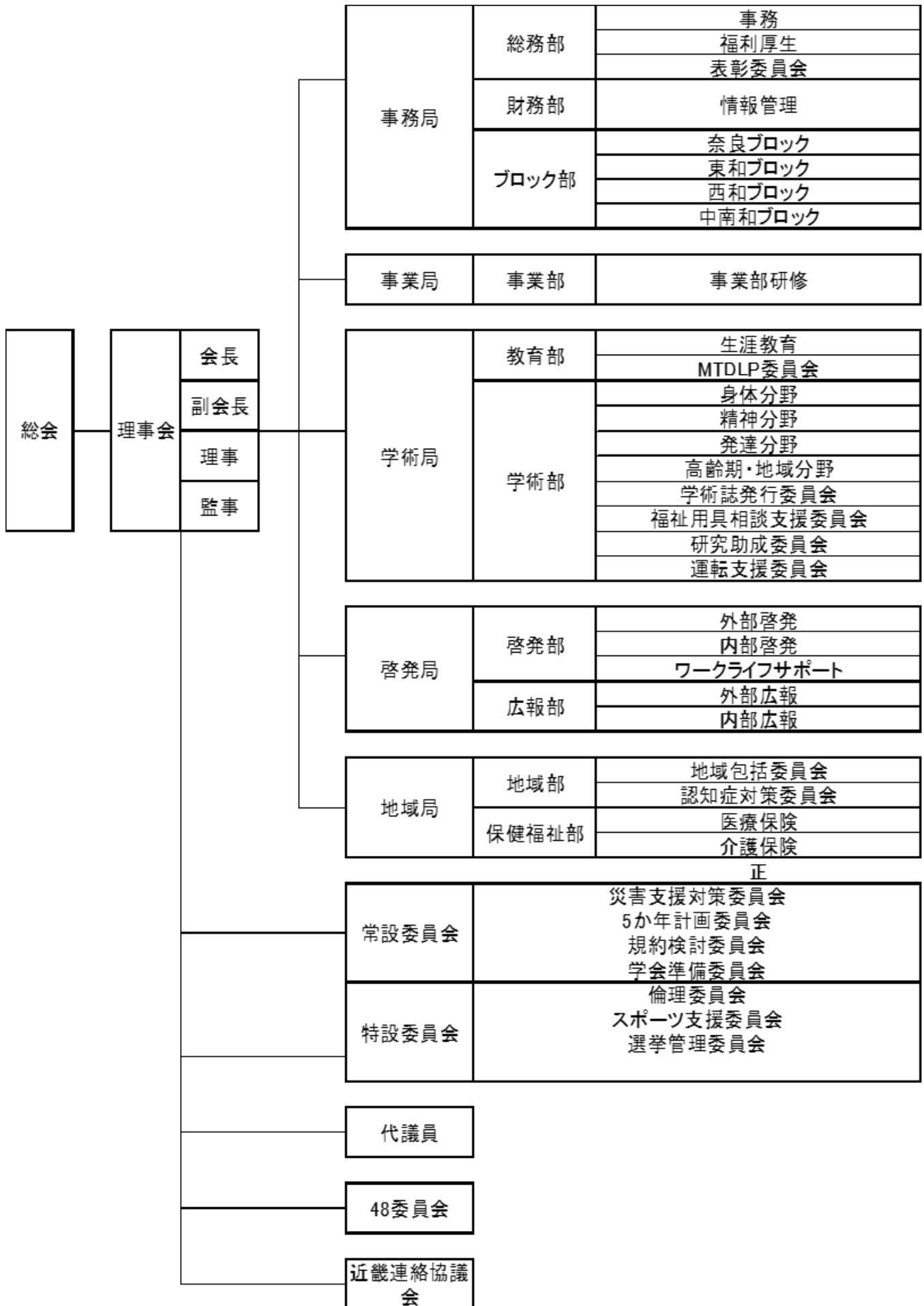
奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口業務を行う。

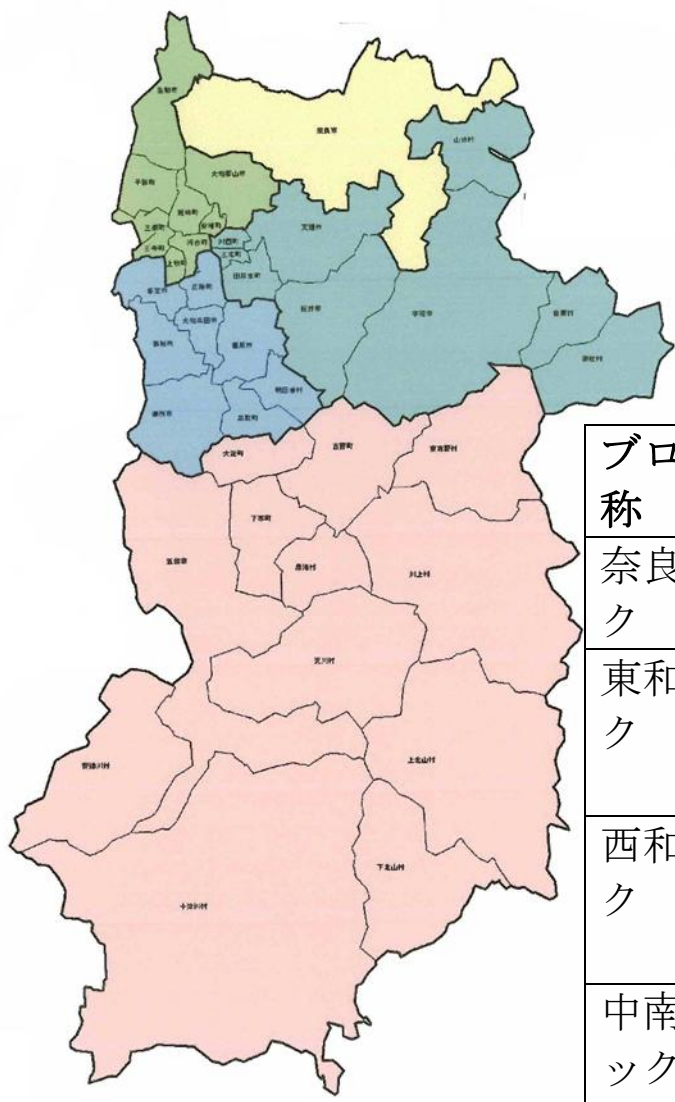
第四号議案 2025 年度 予算計画

支出の部	
部局	7年度予算
会長・副会長	¥ 170,000
事務局 総務部	¥ 2,591,000
事務局 財務部	¥ 280,000
事務局 奈良和ブロック	¥ 38,000
事務局 東和ブロック	¥ 35,000
事務局 西和ブロック	¥ 42,600
事務局 中南和ブロック	¥ 15,000
事業局	¥ 370,000
学術局 教育部 生涯教育	¥ 579,000
学術局 MTDLP委員会	¥ 265,000
学術局 学術部	¥ 44,500
学術局 身障	¥ 90,500
学術局 精神	¥ 205,000
学術局 発達	¥ 118,000
学術局 老年・地域	¥ 26,000
学術局 福祉用具	¥ 22,500
学術局 運転	¥ 42,000
学術局 研究助成委員会	¥ 105,000
広報・啓発局 啓発部 内部 外部	¥ 83,000
広報・啓発局 広報部	¥ 84,000
ワークライフバランス(WLB)サポート委員会	¥ 38,000
地域局 地域包括委員会	¥ 75,000
地域局 認知症支援委員会	¥ 65,000
地域局 保健福祉部	¥ 18,000
災害支援対策委員会	¥ 105,000
スポーツ支援委員会	¥ 367,500
第16回奈良学会委員会	¥ 608,500
臨床実習指導者講習会委員会	¥ 327,700
合計	¥ 6,810,800

収入の部	
部局	7年度予算
事務局 総務	¥ 5,965,000
学術局 教育部 生涯教育	¥ 320,000
学術局 MTDLP委員会	¥ 83,000
学術局 身障	¥ 90,000
学術局 老年・地域	¥ 15,000
スポーツ支援委員会	¥ 18,000
第16回奈良学会	¥ 490,000
令和6年度繰越金	¥ 10,176,597
合計	¥ 17,157,597

一般社団法人 奈良県作業療法士会 組織図





ブロック名称	市町村名
奈良ブロック	奈良市
東和ブロック	天理市・桜井市・宇陀市・山添村・川西町・三宅町・田原本町・曽爾村・御杖村
西和ブロック	大和郡山市・生駒市・平群郡・三郷町・斑鳩町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町
中南和ブロック	大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・明日香村・広陵町・五條町・吉野町・大淀町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・十津川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村